

静岡県連・50周年記念山行報告書

会名	裾野麗峰山の会	報告書	後藤隆徳
年月日	2016年09月10日(土) 晴		
山名	天城連峰・青スズ台(1237m)		
2万5千図	湯ヶ島・湯ヶ野		
林立する山毛櫨・樅・姫沙羅			
コースと タイム	修善寺—天城大橋・水生地下駐車場発7:25—天城トンネル—旧天城トンネル7:42—旧天城峠8:00—向峠(むかい)8:31—1170m峰9:35—寒天林道—八丁池10:33—青スズ台10:50~12:20—下り御幸歩道—林道—駐車場14:02		
標高差	上り 水生地下駐車場約600m~1170m峰=約570m 寒天林道約1110m~青スズ台1237m=約127m 下り "		
参加者	後藤隆徳、KY、MT、OH、HA=5名		

たまたま計画したら、50周年登山候補山だったのに未登だった。「労山・静岡百山」が100山にギリギリだったこともあり、意気揚々出掛けた。登山口は天城大橋横の水生地下駐車場。ここは40台くらい置ける。

天城大橋を渡り、新天城トンネル左手前から上りだす。先日の大雨で道は荒れている。途中の橋はひっくり返り渡れなかった。ひと上りで旧天城トンネルに出る。このトンネルの正式名称は、「天城山隧道」という。真っ暗な隧道で蛍光灯でなく電球が灯っていた。何となく神秘的な雰囲気。

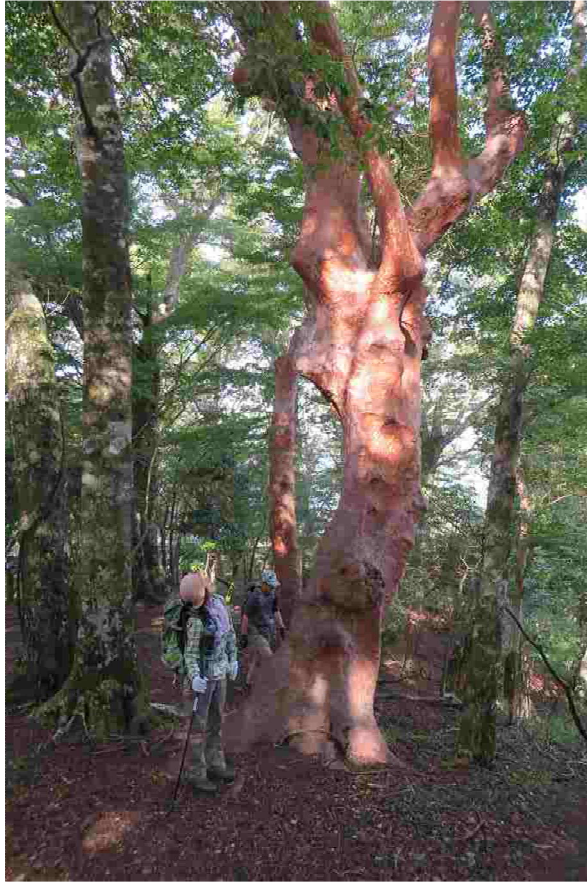


ここには立派なトイレがある。隧道脇から上ると旧天城峠。ちなみに昔の天城峠は、現在の二本杉峠など数本あった。崩壊したりであっちこっちに変わった。

入り口に立派な山毛櫨がある。樹齢はどの程度か。大きさからいって、300年は経っているか。ただ、根が登山道に掛かり踏まれ痛々しい。柵を設置し保護したい心境。

ここから登山道は、上り御幸歩道が伸びる。この道は、昭和天皇が登山の際、整備されたが、天皇がこんな所に何しに来たのか？

ここは、山腹のトラバースが多いので、面白くない。従って、峠から直接、尾根を上った。



急な尾根をグングン上る。もう、蝉は鳴いていなかった。巨大な姫沙羅があった。こんな大きなモノは余り見たことがない。

他に縦の巨木。山毛櫸も巨木が林立する。向峠に立つ。この峠の由来は不明。昔、河津から湯ヶ島に抜けたのか。名称は、「迎え」が「向かえ」になったのか??

延々と美森が続く。そして静か。他の登山者は皆無。この辺りの山は、年齢を重ねて歩くのに最適。下山すれば、渋い温泉も多い。

遠路の山は、往復の時間が負担。気の合った小人数で地図を読みながらやや冒険コースを歩くのが最上。

無名峰の1170mを上る。この辺りの山毛櫸は超素晴らしい。この山毛櫸が残っていたことに感謝。

1170m峰から東に下れば寒天林道に出る。林道に出て青スズ台・南西尾根に取り付く予定だった。が、北に振られ下ると、今まで知らなかった、「コマドリ歩道」に出た。結果的に右に上れば、寒天林道だったが、左に下ったため、上り御幸歩道に出てしまった。地図読みが甘かった訳。

上り御幸歩道を少し上り、八丁池に到着。ここにも立派なトイレがある。ただ、高度があり、処理が出来ない為か灯油みたいのを燃やしているのは、何かいただけない。

寒天林道に戻り、青スズ台に上った。頂上は気持ち良い空間が広がっている。

日差しが強いので木陰で昼食。近場の山で時間があるのでユックリ過ごす。M氏の「人生相談」で盛り上がった。

下山は、下り御幸歩道。車の人となり、湯ヶ島「河鹿の湯」に入る。料金は300ー。やや熱めの湯でサッパリした。

